

**RI地区2780地区
2023年~24年度
ガバナー田島敏久氏**



2023年11月25日

指導者育成セミナー

ロータリアンのリーダーシップ

**Ri2500地区
2008年~09年
ガバナー 足立功一**

◆2023-24年度
国際ロータリー会長

ゴードン R. マツキナリー氏

(サウス・クイーンズフェ
リー・ロータリークラブ
会員:
スコットランド・歯科医)





奥様：ヘザー夫人



**2024-25年
度国際ロータ
リー会長
ステファニー A.
アーチック氏**

**マクマリーRC
(ペンシルベニア州)**





**・ 2025-26年度
国際ロータリー会長
デ・カマルゴ氏
(ブラジル;サンパウロ)**



2023-24年度

「世界に希望を生み出そう」

・ゴードン R. マツキナリー会長エレクトは、ロータリーが**平和やメンタルヘルス**のために活動し、世界に希望を生み出すよう呼びかけています。

・また、そのためには**対話を通じて信頼を築くこと**が重要であると訴えています。



世界に希望を生み出そう

◆会長イニシアチブ

- ・メンタルヘルスへの取り組み
- ・バーチャル交換を通じた平和構築
- ・女兒のエンパワメント

今年度、ゴードン会長は「世界に希望を生み出そう」のテーマを掲げ、三つの会長イニシアチブに焦点を当てます。



世界に希望を生み出そう

＜希望を生み出すには＞

- ・最も重要な活動を継続する
- ・それをもっと効果的に行っていく 必要がある

ロータリー創設(1905年)の頃の出来事

- 1904年:日露戦争開戦(明治37年)
- 1905年:アインシュタインが相対性理論を発表
- 第一次ロシア革命
- ノルウェーがスウェーデンから独立
- ポーツマス条約締結(小村寿太郎、セルゲイ・ウイッテ):米ルーズベルト大統領の仲介
- 日露講和(賠償金なし)





1904年
2月4日：
日露戦争
開戦

◆その当時の国力の差

※日本とロシアとの差(1904年)

- 人口 **日本4400万人** **ロシア1億4000万人**
- 国土面積 日本1 : ロシア60倍
- 国家歳入 日本1 : ロシア8倍
- 陸軍総兵力 日本1 : ロシア11倍
- 海軍総トン数 日本1 : ロシア1, 7倍
- 日本政府歳入 4億円

日露戦争に使った費用 20億円

現在の金額 2兆6千億円

◆日露戦争で活躍した人物

- **山本権兵衛**
(戦艦三笠購入、東郷平八郎を任命)
- **乃木希典大将**
(旅順要塞攻略)
- **東郷平八郎**
(連合艦隊司令長官)対馬海峡での日本海海戦大勝利
- **小村寿太郎** (全権大使桂太郎内閣)
ポーツマス講和会議

◆陰で活躍した人物

- **金子堅太郎** : 福岡藩 1871年(明治4年)
岩倉使節団に同行した藩主・黒田長知の
随行員として留学
(ハーバード大学でルーズベルトと同窓生)
- **高橋是清** : (大蔵大臣7回、内閣総理大臣)
戦費調達の外債募集を成功
- **明石元二郎**: 福岡藩 陸軍士官学校 (陸軍大将)
ロシア国内での秘密工作員、
- **ジェイコブ・シフ** : アメリカ在住ユダヤ人協会会長
(銀行家)
高橋是清に資金援助を行い、外債発行支援

◆1867年(大政奉還) 明治政府樹立

1868年 : 戊辰戦争

1871年 : 岩倉使節団(黒田長知)

金田堅太郎ハーバード大学留学

ルーズベルトと同窓

1877年 : 西南戦争 西郷隆盛自害

1885年 : 第一次伊藤博文内閣発足

1889年 : 大日本帝国憲法公布

1894年 : 日清戦争

1895年 : 三国干渉(遼東半島放棄)

1902年 : 日英同盟締結

1904年 : 日露戦争(~1905年)

1910年 : 韓国併合

◆弱国日本が大国ロシアに勝利できたのは、このような素晴らしい人間の存在とそれらの人の人脈があったからこそ

・戦争終結後、日本には敗走するロシア軍を追いかけて壊滅するだけの戦費も軍力もなかった

・ロシアは本国に責められていないので敗戦とは理解していない(講和で終わった)

・戦争に勝って賠償金も取れなかったことに怒った国民は各地で暴動を起こした(日比谷焼き討ち事件)

◆勝負は時の運と言うが

日本がロシアに勝利した理由

- ①戦争終結を見据えた早期の対策(米国の支援を早期に取り付けた);伊藤博文
- ②戦略(乃木希典、東郷平八郎)
- ③情報の入手と正確性(明石元二郎等)
- ④資金力(戦費調達):高橋是清、ジェイコブ・シフ
- ⑤兵力の鍛錬
- ⑥国民の総意(桂太郎首相)

◆マッキナリー会長が考えるロータリーを活性化する最善の方法

①会員増強の最善の方法は

「エンゲージメント(参加／関わり)」

②地域のリーダーであるロータリアンが**リーダーシップ**をとる

- ※ クラブをより良くサポートするには、国際ロータリー、地域リーダー、地区チームの**すべてがクラブと関わりあう必要がある**
- ※ **ソーシャルメディアを通じたエンゲージメント**によって、ロータリーのブランドをより強くする
- ※ ロータリーがもたらす機会を多くの人に知ってもらう
- ※ 政府・企業・その他の団体のエンゲージメントがあることで**有意義なパートナーシップを築く**

2016年ジョン・ジャーム会長のテーマ

◆Rotary Serving Humanity

(人類に奉仕するロータリー)

国際協議会の分科会でのセッションの中心

- ① 会員増強
- ② 財団(財団100周年、ポリオ撲滅、人道的奉仕、グローバル補助金)
- ③ 地区ガバナーとしてのリーダーシップの構築
- ④ ロータリーモーメント(自分の経験を語る)

ロータリーの リーダーシップとは？



前提条件

ロータリーの会員は基本的に年齢、性別、地位等あらゆる違いを問わず皆、平等である。



■ Listen

相手の思いを聴き、こちらの
思いを語る

■ Enthusiastic

情熱的に、熱意をもって

■ Ambitious

大いなる志をもって

■ Dream

夢をかたちにしなから

■ Enjoy

楽しみつつ

■ Rational

合理的に、理路整然と、感情に
溺れることなく



トレーニングとコーチング

トレーニング



「上から下に行われる」、「均一性が要求される」決まった列車(トレーン)で、決まったコースで、皆が同じ場所に行くというイメージ。

コーチング



横の関係で行われる。コーチングを受ける人が、自ら選択する主体性を保持する。馬車(コーチ)のように、自分の好きなところに自分の行きたいコースで進めるように手助けしてくれるイメージ。

渡辺好政元RI
理事提供

◆リーダーシップ(Leadership)

「指導力」や「統率力」

目標達成のためにビジョンを示したり、部下のモチベーションを維持したりすること

組織におけるメンバーの模範となり、チーム全体に良い影響を与える人物を指す

人を動かす源泉となるものは

- ①暴力
- ②金
- ③地位
- ④医療などの専門性のある職業
- ⑤情報
- ⑥コネクション
- ⑦ロータリアンでは？？？

RI2580地区
水野正人PDG資料

◆ リーダーシップがある人の特徴

- ① 周りからの信頼や評価が高い
どんなことも自分で責任を取る人は、周りから高い信頼を得ます。
- ② 何事にも行動的である ...
- ③ 直面力がある ...
- ④ 信念を貫く ...
- ⑤ コミュニケーションスキルが高い ...
- ⑥ 問題から逃避しない ...
- ⑦ メンタルが安定していて自己管理できる ...

◆ ダメなリーダーにみられる主な特徴

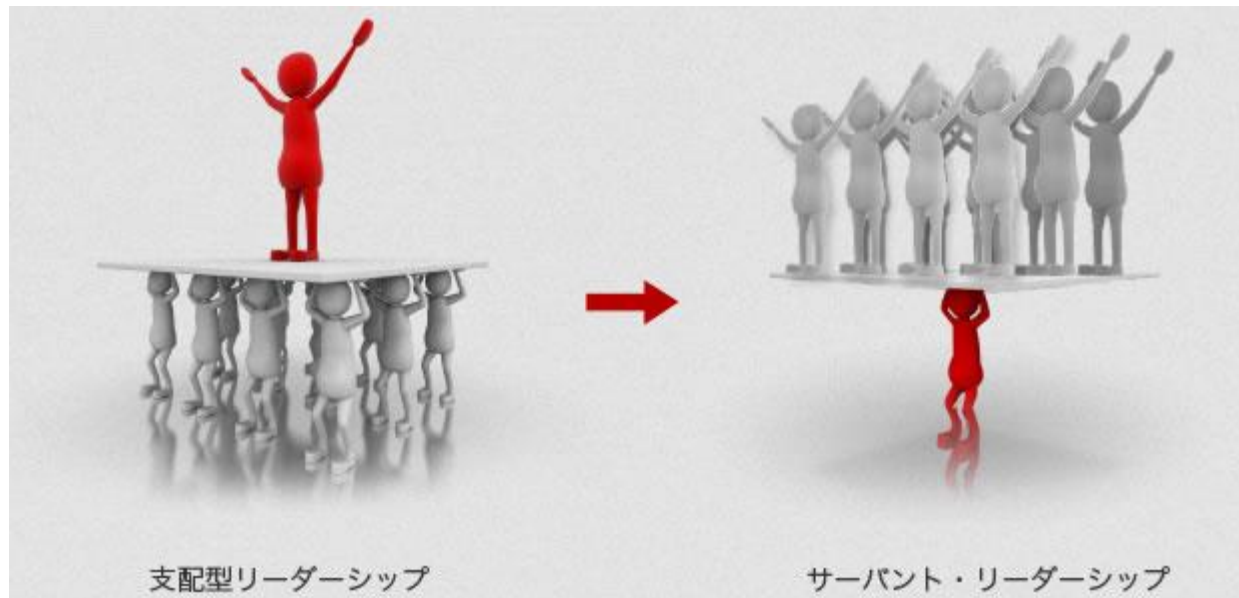
- ① 周りの意見に同意してしまう
- ② コミュニケーションを取るのが苦手
- ③ プライドが高く、自分と違う意見に否定的な態度を取る
- ④ 責任を問われるような重要な決断ができない

支配的リーダーシップ

- ・ 頑張ってリーダーシップを発揮しているつもりで、自分でがんがん決断をして、あれやこれやと部下に指示出しをして、思うように動かない部下を目の前にして、叱責や「昔、俺ならなあ〜」と詮無き昔話を展開して、ますます人望を失っていく。
- ・ すべてが**上意下達**で指示を出す
- ・ **自分の思い通りにならない人間は評価が低い**
- ・ 強引に飲みを誘って、自分の昔話を聞かせて、コミュニケーションをとった気になっている
- ・ 拳句には、セクハラ、パワハラ、

サーバントリーダーシップ

支配型リーダーシップの反対が、サーバントリーダーシップです。サーバントリーダーシップは、ロバート・グリーンリーフ(1904～1990)が1970年に提唱した「リーダーである人は、まず相手に奉仕し、その後相手を導くものである」というリーダーシップ哲学です。サーバントリーダーは、奉仕や支援を通じて、周囲から信頼を得て、主体的に協力してもらえらる状況を作り出します。



サーバントとは？



召使、使用人、従僕という意味ではない

- 上司は自分が掲げるミッションやビジョンを実現するためにメンバーが行動してくれると考えます。
- そのため、メンバーがより活躍しやすい仕事環境を整え、メンバーのタスク遂行を裏から支えるのがリーダーの役割である
- 「サーバント」というギャップを感じる言葉遣いに注目が集まり、「ただ部下のタスク遂行を支援していればそれで十分である」という誤解が生じやすい

まず厳正にかつ緻密に、己自身のミッションやビジョンを分かりやすく、そして納得性高く提示・説明するところが重要。

リーダーの99%のパーフォーマンスによって為し遂げられる

サーバントリーダーシップ

支配的リーダーに従うメンバー行動	サーバントリーダーに従うメンバー行動
主に恐れや義務感で行動する	主にやりたい気持ちで行動する
主に言われてから行動する	主に言われる前に行動する
言われたとおりにしようとする	工夫できるところは工夫しようとする
リーダーの機嫌を伺う	やるべきことに集中する
役割や指示内容だけに集中する	リーダーの示すビジョンを意識する
リーダーに従っている感覚を持つ	リーダーと一緒に活動している感覚を持つ
リーダーをあまり信頼しない	リーダーを信頼する
自己中心的な姿勢を身に付けやすい	周囲に役立とうとする姿勢を身に付けやすい

・リーダーは、社会に貢献し、関係者に共通の利益を生み出す

・価値ある目標を提示し、そこから明確に定義されたタスクに取り組むメンバーを陰に日向に支えて、彼らに奉仕するのがサーバント・リーダー

◆モチベーション

・メンバーに奉仕すること⇔高い地位に就く

◆リーダーが大切にすること

・Win-Win状態になること⇔自身が競争に勝ち抜く

◆影響力行使の源泉

・信頼関係⇔自己のポジションに起因する権力

◆コミュニケーション

・傾聴 ⇔ 指示・命令

◆「成長」に対する考え方

・個人と組織の調和⇔自分の地位が上がること、

◆「失敗」に対する態度

・教訓を学ぶ⇔メンバーの失敗を厳しく叱責する

◆ R L I (Rotary Leadership Institute) : ロータリー・リーダーシップ研究会

- ロータリー・リーダーシップ研究会は質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するための、草の根の多地区リーダーシップ開発プログラム
- ニュージャージー州の7510地区で、デヴィッド・リネットガバナーによって1992年に設立
(高い教育的な経験を備えた将来のクラブ指導者を要請する目的で、その可能性のある特定のロータリアンを支援するために設立された)
- 日本では黒田元RI理事が導入

<要因>

- ・RLIの結成につながった要因は、ロータリー・クラブの多くの会長やその他のクラブ指導者たちが、ロータリーに関する僅かな知識しか持たないで、特にクラブ外のことや、ロータリー運動を前進させていくのに必要な指導力に乏しい知識しか持ち合わせないで就任するという危機感から発生した

- **良い指導者がいるクラブは、良いプログラムを伴った関心ある例会を行って、会員を育て、退会防止を行える。**
- **指導力こそが、私たちのクラブを成功に導くための重要な要素であると信じられて行われている**

- このプログラムは一時、国際ロータリーの役員に関心を惹き、2001年の国際協議会のスピーチの中でも取り上げられ、RI理事会は、クラブや地区がRIおよびこれに類似したプログラムに参加することを推奨するという決議もなされた。
- その手法には、グループ・ディスカッション、ロール・プレイング、問題解決ワークショップ、グループ計画トレーニングなどが含まれ、講演は限定される。
- しかし、PETS、地区チーム研修セミナー、地区協議会などのRI研修プログラムのほとんどすべては、ガバナーが国際協議会で研修を受けた内容を地区の役員に説明する具体的な活動に関するプログラムが主体
講演が主体の事が多い

◆ RLIをより有意義なものにするには、ファシリテーターとなる人の技術が大切(スモールグループに分かれなければならない)

※国際ロータリー研修リーダーとして私の2年間の経験から

- ①ロータリアンは地域で社会的立場もあり、重要な役職についています。その人の人格を尊重しなければならない
- ②個人に恥をかかせるような行為は行わない
- ③個人のロータリーの能力を試験するものではない
個人に質問する際は大変気を遣う
- ④参加者の表情に注視し、自発的に発表を促すようにする
- ⑤個人の意見を否定しない、言い争いにならないよう配慮する
- ⑥参加者全員に公平に発表していただく
- ⑦時間配分に気を付ける
- ⑧本題から逸れないように軌道修正する
- ⑨ファシリテーターが自分の意見を述べない
- ⑩結論を出さなくても良い
- ⑪あくまでも個人のロータリーを生きがいとしているリーダー候補者の研修の一環であるをご理解いただきたい

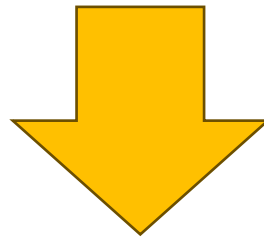
・ RLIはロータリーを生甲斐としているリーダー候補者に焦点を合わせるもので、特定のロータリーの役職にある人に焦点を合わせるものではない。**一般的な指導者教育を提供するもの。**

・この活動がRIの公式プログラムとして認定されていない原因は多々あると思いますが、ここで確認したいのはRLIは

①強制的なものではない

②この研修を受けなければ将来地区役員やガバナーエレクト、ガバナーになれないというものではない

- ◆ RLIはディスカッションの技術的な能力を習得するもの
- ◆ これができたからと言ってリーダーシップ能力が完成されたわけではない



◆ロータリーの常設プログラムではなく、これは**多地区合同事業**と言う位置づけ

◆ 人間の能力を リーダーシップの「ある人」と「ない人」の二つに分けると

それを分ける要素は、たったひとつ

「心の持ち方」

- ① その人の容姿とは無関係
- ② ポジションの高低はまったく関係がない
- ③ 個人の素質もリーダーシップの有無とは無関係。

- 人間は苦しい事、困難なことに直面した時、
「逃げたい」と考えます。それは自然な生体反応です。
生体反応ですから、それを克服するのは難しい
- そして、できない理由を他者や環境のせいにして逃げ道を作る。
- しかし、その時自らの力で困難に立ち向かうことができれば、
もしそれが失敗しても、結果が最悪に終わっても一向に気に
しなくてよい。
- 問われるのは、そこで「逃げたか」、「まともに取り組んだか」で
ある ただこの一点が問われる
- そして、そのような経験は、できるだけ若いうちにしたほうが良
い。若いころに“逃げ癖”をつけてしまうと、歳を取ってから修
正するのはきわめて難しい

- ・ リーダーシップを発揮するには、「誰か」を指導するなど不遜な考えを持つ前に、「**自分の課題から逃げない**」という「**心の持ち方**」を徹底することが大切。
- ・ 目の前に困難が立ちはだかったときに、誰かのせいにしてたり、環境のせいにしてたりするのではなく、自分の力で何とかしようとする意思をもつ
この「**心の持ち方**」こそが、リーダーシップの根本です。

◆公平である

リーダーにとって大切なことはメンバーへの業務の割り振りや、評価など常に公平な視点で行うことはリーダーとして重要であり、話を聞く姿勢や対応にも気をつけなければなりません。

リーダーの不公平な振る舞いはチームの信頼関係を破綻させ、離職にも繋がります。常に公平であることはリーダーとして心がけるべき大事なことです。

◆コミュニケーション力

**リーダーシップでもっとも重要なスキル
目標設定や社員育成、後述する実行力や
責任を取る能力なども、すべては確かなコ
ミュニケーション力のうえに成立するもの**

**自分の考えを押しつけるのではなく、相
手の意見を尊重して耳を傾け、目標達成
に向けて「すり合わせ」をおこなうことが大
切**

◆ **組織とは**そもそも、一人ではできないことを、みんなで一緒に成し遂げるために存在するもの

リーダーに求められるのは、チームの結束力を高め、個々のメンバーをチームの大切な構成員と位置づけ、同じ目標に向けて全員が足並みを揃えて行動できる環境をつくることだ。

そのための最初の一步は、**明確なミッション(使命)**をメンバーに共有させて、仕事に**パーパス(意義)**を注入すること。そのうえで、**インクルーシブ(包摂的)**なリーダーシップを通じて、**ミッションを具体化し、一人ひとりがミッションにどのように貢献できるかを理解できるようにすべきだ。**

また、メンバーの**貢献がしっかり評価される仕組み**をつくることも忘れてはならない。こうしたことを行えば、どんなに些細な仕事も深い意義を持つようになる。

◆目の前の困難を乗り越えるために、知恵を絞り、率先して行動する姿に、周囲の人々が共感を寄せて、「力になってやろう」「協力しよう」と思ってもらえたときに、はじめてリーダーシップは生まれる。

・少々不器用であっても、小心者であっても、その人なりの「持ち味」を活かしながら誠意をもって対処すれば、必ずリーダーシップを発揮できるようになる

・「逃げたい」「やりたくない」と思ったときがチャンス 「逃げ出したい」と思うような場面に遭遇したときこそがチャンスなのです

◆ロータリアンに於けるリーダーシップ

ロータリアンは他人が奉仕しているのを傍で見ているものではありません。人から頼まれたら責任を持って行動する、頼まれなくても良かれと思った事は自分から率先して行動する事こそ、ロータリアンに求められた姿です

人は理屈では動きません。

ロータリアンが奉仕に献身するのはそこに**共感と感動の心**とそこからの**義理人情**が生まれるからです。そして、その活動が地域や社会の為になるものであると言う事は、社会との調和がとれた存在である事が必要で、それが持続可能性になります

◆ロータリアンの育て方

◆『育児』とは

- ・赤ん坊のときは 肌を離すな
- ・おさな児のときは 手を離すな
- ・子供のときは 目を離すな
- ・少年のときは 心を離すな

これぞ 育児の極意
これぞ 育児の原点

◆ロータリアンとは

- ・1年目は例会に毎週毎週
例会に誘いなさい
- ・2年目は声掛けをしなさい
- ・5年目までは、目をかけな
さい
- ・それ以後は心に留めなさい

これぞロータリアンの極意
これぞロータリアンの原点

こんな簡単なことを守るだけで必ず 良い子は育つ
子供を育てるということは、親も一緒に人間として成長していく
かけがえのない時間だと思います。

ロータリアンのリーダーシップとは

- ① 人に頼まれたら断ることなく(ロータリアンにNOは無い)、もし困難に遭遇したらそれから逃げるのではなく、それに立ち向かう強い心を持って前に進む
- ② 常に周囲に気配りをして、細心の注意を払って物事に当たる
- ③ 関係者に共通の利益をもたらすような考えを持つ(利己と利他) 自分の金で活動する
- ④ 周囲の者にやる気を出させる
- ⑤ 決して失敗を恐れない
- ⑥ 上からの目線の指図ではなく、下から支える気持ちが必要
- ⑦ 奉仕の心の醸成の為、ロータリー財団に快く寄付しましょう

◆田島敏久ガバナー**ROTARY SPIRITS**

正直な活動は喜びと化す。後に続く者の為に、豊かな大地を残そう。

友人に奉仕することこそ、人間の真摯な努力。

利己の心を抑え、利他の心を育む。真実の道からいささかも外れることなく、奉仕に邁進して、金銭を求めず。隣人トラブルを避け、友を裏切らず。

これはすべてロータリーの努力、望むこと。他人の為に。

道を開き、最高の人生を作り出す。(わが兄弟)と言う言葉こそ重要な意味を持つ。友人の姿が見えなくなるまで、優しい言葉をかけ続けよう。



ハロルドT.トーマス
(Harold T.Thomas
1891～1992) ニュー
ジーランド・オークランド
ロータリークラブ会員。
1959－60年RI会長
その時のテーマは
「VITALIZE
PERSONALIZE BUILD
BRIDGES OF
FRIENDSHIP」(生氣を与
えよ 身につけよ 友愛の
橋をかけよ)。

著書：ロータリーモザイク

- ・モザイクは、形も色も、大きさも異なつたタイルの組み合わせで作り、美しい作品になるが、これはロータリーも同じで、人種、言語、宗教、そして考え方が異なつた人たちが集まって作り上げるものがロータリーであり、モザイクと同じであることからこの名前を付けた。

• ハロルド・トーマス

ルドヤード・キャプリングの書いた
ジャングルブックの中の「ジャングルの
法則」でのべている言葉をたびた
び引用した。

• この言葉を最初に引用してロータ
リーを語ったのは1917年のRI会
長レスリー・ピジョン

ジャングルブック



- ルドヤード・キャプリング(1907年にノーベル賞を受賞)
- **ジャングルの法則**
- 森の洞穴に現れた人間の赤ちゃんは、母オオカミ・ラクシャに預けられてオオカミの群れの中で育てられた。その少年モウグリを主人公に、ヒグマのバルーと黒チョウのバギーラ、モウグリをさらったサル族、岩ニシキヘビで知恵者のカー、人間を恨みモウグリの命を奪おうとするトラのシア・カーンなど、「ジャングルの掟」とともに厳しく生きる者たちを描く永遠の名作、新訳で復活!

「狼は群れの方であり、群れは狼の方である」

◆この言葉の意味は、狼は一匹一匹強靱な体力と優れた頭脳を持っている。そして、群れで行動します。

群れには必ずリーダーがおり、リーダーが全体を統率します。リーダーが優れたリーダーシップを発揮し、他の狼がチームワークを組んで一糸乱れぬ行動をとる時それは、計り知れない力になる。

しかし、群れから離れた狼は荒野を一匹でさまようだけで、やがては野垂れ死にます。ヒツジは何千頭いてもリーダーがいないので、敵が来ると右往左往します。

つまり、一頭だけ能力のある者がいても、その力には限界がある、能力のあるものが集まり、それに素晴らしいリーダーシップが加われば、とてつもない力を発揮するということの意味している

ロータリーモザイク

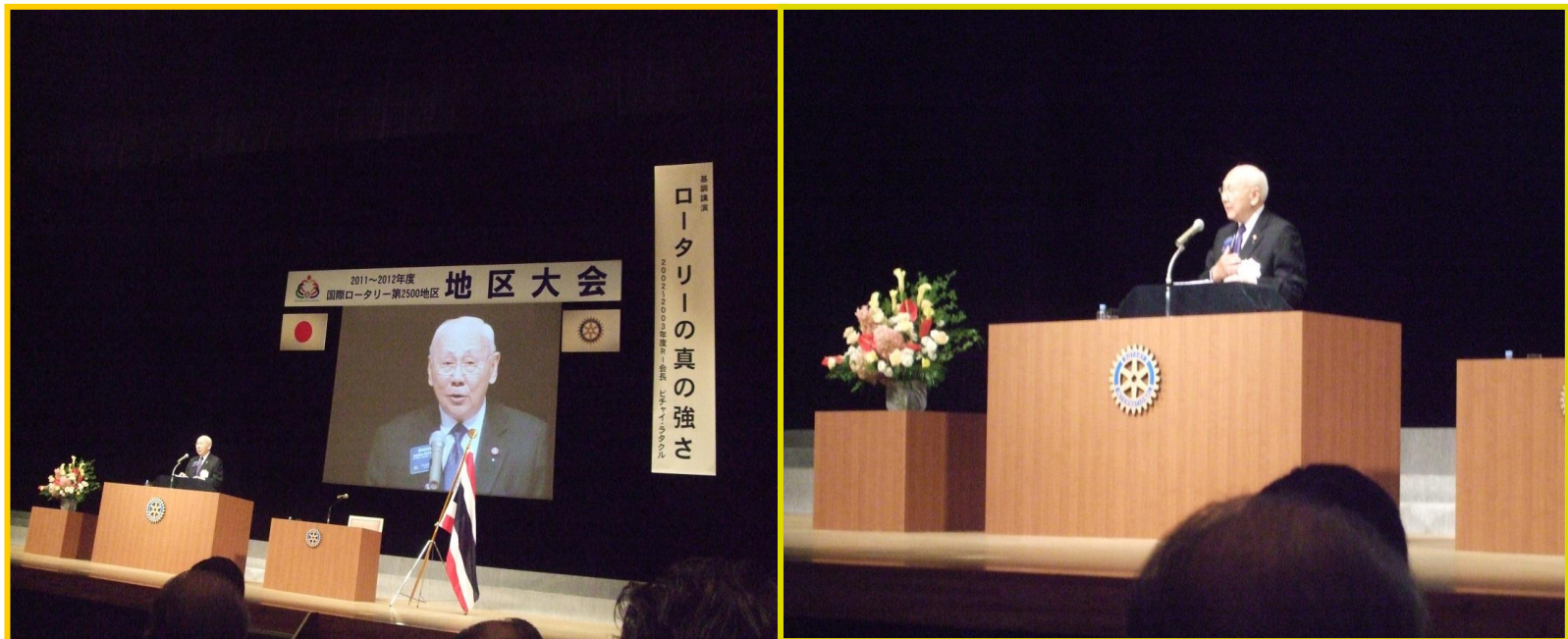
- 「会員の一人ひとりが、その従事する生業の全面的な改善のためそれぞれその役割を果たすクラブ。
あなたの生業を、友情溢れるような生業にするために自分の持分を果たすこと – これが**職業奉仕**なのだ。」
- 指導者としての責任はロータリーの全てを**単純化**し、**明確に理解**することが必須の要件と結論した

この話は、ロータリーにおいては、過去から議論されている、決議23-34の論争で争われてきた、I serve とかWe serve という次元の問題ではなく、ロータリアン個人はそれぞれ素晴らしい能力をもつ人物ばかりであり、それに強いリーダーシップと、強靱で揺るぎないチームワークが加われば世界でどれだけすごい力を発揮するかという事を表しています。

魅力あるクラブには必ず、素晴らしいリーダーシップを持った会長がおり、会員全体の素晴らしいリーダーシップによってクラブは成り立っているのです。皆さん方もロータリー活動を通じて、研修を受けられ、素晴らしいリーダーシップを身に着けて、地域でそして世界でご活躍していただきたいと思います

<足立功一の私見>

ビチャイ・ラタクル元RI会長の話す ロータリーのリーダーシップのあり方



ビチャイ・ラタクル元RI会長の言葉

**「ロータリーのリーダーは変わりますが、
ロータリーのリーダーシップは変わりません。」**

・・・ロータリーのリーダーシップは継承されていかなければならないのです。」

**2011.10.1講演～ロータリーの真の強さより
旭川での地区大会**

- **全てのロータリアンは、永遠に続くロータリーモザイクの造成に皆様一役も二役も買っており、ロータリーの成果は一人一人のロータリアンが積み上げた活動の総和であります。**
- **そして、ロータリーの物語を永遠に語っていかねばならない**

**田島ガバナー年度
が皆様のリーダー
シップの下に素晴
らしい成果が成し
遂げられますよう
祈念します**

**ご清聴ありがとう
ございました**

